

インドネシアにおける燃料油の輸入・販売事業の開始について

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、本年5月を目途に、インドネシアにおいて軽油の輸入・販売事業を開始しますので、お知らせいたします。

東南アジア最大の約2億4千万の人口を抱えるインドネシアでは、経済成長に伴い増加を続けるガソリン、軽油などの需要に対して国内の石油精製能力が不足しており、燃料油を中心とした石油製品を恒常的に輸入しております。

当社は中期経営計画の主要施策の一つとして海外事業の強化を掲げており、インドネシアにおけるこうした市場環境をビジネスチャンスと捉え、事業の拡大を検討してまいりましたが、今般、同国での軽油の輸入・販売事業のライセンスを取得し、事業の開始を決定したものです。

引き続き、同国での製油所、SS運営事業など、サプライチェーンにおけるあらゆる事業について、参入の可能性を検討してまいります。

インドネシアでは、既に当社の100%出資子会社であるNippon Oil Indonesia(以下「NOID」)が潤滑油の販売を行っておりますが、同社の事業に燃料油の輸入・販売を追加し、日本と同様、お客様に信頼していただけるサプライチェーンを構築し、「ENEOSブランド」の拡大に努めてまいります。

当社は今後とも、アジア域内を中心に拡大するエネルギーおよび素材需要を取り込むべく、燃料油販売事業をはじめ、海外事業の強化・新規事業の育成に努めてまいります。

<NOID社の概要>

1. 名称	PT※ Nippon Oil Indonesia
2. 所在地	ジャカルタ市
3. 設立	2009年8月
4. 資本金	610万米ドル
5. 代表者	山本 修
6. 事業内容	潤滑油・燃料の輸入・販売、石油・石炭・バイオ燃料等の情報収集
7. 従業員数	13名(うち、日本人駐在員6名)

※インドネシア語で株式会社を意味する「Perseroan Terbatas」の略

以 上